

【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

(1)【校長・教頭・事務長】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 挨拶の励行、皆勤・精勤者の増加、遅刻者の減少を図り、前年度より向上したことを検証する。</p> <p>② 創立100周年を迎え、再編統合による西高校として最後の年にあたり、在校生をはじめ、保護者や地域の皆さんにも、西高校の様々な情報提供の機会を増やし理解と協力をいただき、新高校への引き継ぎを推進する。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>生徒指導部・各学年担任団・各学科・各教科の協力体制によって、登校指導や挨拶運動の実施、授業内での道徳教育等の取り組みを実施し、アンケート調査等により改善率を検証する。</p> <p>指標 今年度の皆勤・精勤率50%以上。1日当たり平均遅刻者数5人以下。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>各学科・各分掌・各学年・各教科の協力体制により、学校での学習活動の様子の広報に努める。</p> <p>指標 西高校のWebページでの情報提供を活性化し、週2回以上の更新に努める。また、新型コロナウイルス感染拡大の現状を踏まえながら、検討を進め、学校行事である体育祭、文化祭、授業参観といった場面において、外部公開の機会を可能な限り継続する。</p> | B |

| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
|-------------------------|
| |

| 次年度への改善点 |
|----------|
| |

(2) [国際交流]

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | | 進捗状況 |
|---|---|------|
| 取組内容①【施策6 多文化共生教育の推進】 姉妹校 Parkdale 校との連携内容の確認と改善に努める。 | 指標 再編統合・新校に向けて、連携内容を確認し、効果的な交流の充実を模索する。 | B |
| 取組内容②【施策6 多文化共生教育の推進】 本年度で最後となる Bayview 校との連携について、理想的な形で終結をする。 | | |
| 取組内容③【施策6 多文化共生教育の推進】 市・府など国際交流事業に意欲的に参加し、国際社会で活躍できる人材の育成に努める。 | 指標 国際交流センターなどと連携をして、生徒が多文化理解を深めることができるように取り組む。 | B |
| 取組内容④【施策6 多文化共生教育の推進】 本年度で最後となる Bayview 校との連携について、理想的な形で終結をする。 | | |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | | |
| | | |
| 次年度への改善点 | | |
| | | |

(4) [生徒指導部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 遅刻0の日の増加をめざすとともに、服装、頭髪、言動の乱れをなくす。また、挨拶が1日の始まりとなるよう挨拶の励行を行う。</p> <p>② 全体集会や講演会で人権を尊重する大切さを訴え、他者を思いやる心の育成を図るとともに警察と連携し交通規則の順守、いじめや差別を許さない意識向上をめざす。</p> <p>③ 生徒指導部と全校生徒とのコミュニケーションをできるだけ密にとるように努め、事件が起こってからでの指導ではなく、事件を起こさないように事前の指導に力を注ぐ。問題行動の実態把握と未然防止に取り組む。また、SNSの危険性を伝え、利用にあたってのモラルの向上をめざす。</p> <p>④ 1年生の部活動加入率7割以上をめざす。また団活動、部活動を通じ学年を超えた協力関係を築き、リーダーシップや自主性、連帯感を養う。</p> <p>⑤ 生徒会執行部と各クラスの連携を深め、学校行事の運営に関わっているという自覚や責任感・充実感を持たせる。裏方で行事を支えてくれている人がいることを理解し、感謝の気持ちを持てる生徒を育てる。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>登校時の教職員全員による校門指導、昼休みの校内巡視指導、始業式・集会時の服装・頭髪検査と学期を通じた継続指導、携帯のマナー指導、遅刻生徒への面談指導、早朝登校指導、などにより道徳心・基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>指標 遅刻者数1日当たり平均5人以下を目標に、基本的な生活習慣の定着を目指す。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>毎月1回、学年と生徒指導部で連絡会を開催し情報交換を行い、生徒の状況を把握、いじめや問題行動を防止する。始業式、終業式において人権を尊重する大切さを訴える講話を行う。警察と連携し1年生への交通安全教育の開催、2年生へ薬物乱用防止教育など自己と他者の心身を尊重する意識を高める。</p> <p>指標 いじめ・いやがらせ・交通事故0、安心して平和な教室、学校を目指す。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策1 いじめ・問題行動に対応する制度の活用】</p> <p>日々の生徒指導部と生徒とのやりとりの中で、一方通行の指導にならないように心がけ、生徒の気持ちを聞く余裕を持って指導にあたる。また、生徒指導部会等において他校と情報交換し問題行動の実態把握、未然防止に取り組む。</p> <p>指標 長期欠席者や、欠席・遅刻の増加傾向にある生徒の把握とその生徒一人一人に対応するよう最善をつくす。</p> | B |
| <p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>合格者説明会、入学式当日の勧誘活動、部活動紹介を通じて体験入部を奨励する。月1回開催する部長会議においてリーダーシップを育成する。結団式を行うことで</p> | B |

| | |
|--|---|
| 団活動の決意をかため、学年間の交流を深める。団長、生徒会役員のリーダーシップを育成する。年度内に次年度に向けたリーダー研修会を開催する。全生徒が部活動、団活動、学校行事へ自主的に取り組む姿勢を養う。 | |
| 指標 学業成績では見えない生徒の長所の発掘・開発。 | |
| 取組内容⑤【施策2 キャリア教育の充実】 生徒会定例会における計画立案指導、各種委員会の活動指導などにより、自主的な生徒会活動を実現する。行事ごとに、生徒会執行部等の活動を理解させる。風紀委員の早朝挨拶運動を継続する。 | B |
| 指標 年度ごとに特色のある計画を立案し、実行する。 | |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| 次年度への改善点 | |

(5) [進路指導部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 ① 新型コロナウイルスによる混乱の中、一人ひとりの進路実現に向けて、きめ細かな進路指導・面談・補習等を実施し学力向上をサポートする。 ② 進路説明会を実施し、進学に対する目的・目標や職業意識等を育成する。 ③ 経済悪化による求人数減少が予想されるが、指定校・公開求人でも毎年内定をいただいている企業やハローワークと連携を密にしながら就職実績を継続させる。 ④ 高大連携によって、生徒の学習意欲や目的意識を高め、適切な進路選択を支援する。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】 進路面談を通じて生徒一人ひとりの希望を正しくとらえ、より適切な情報の提供・指導のもと進路実現を推進する。また、外部模擬試験の案内をおこない、客観的な学力の把握に努めさせる。 | B |
| 指標 面接練習や進学書類の指導では、本年度立ち上げた進路委員会にお手伝いいただき個別指導の充実を図る。進学希望者には外部模擬試験の受験を勧める。 | |
| 取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】 各学年、様々な内容の進路説明会を実施し、学校や企業から講師を招くなど、進学・就職に関する各種説明会を行う。進学では昨年度よりAO入試をはじめ入試制度が変更されるので、名称・実施時期の変更など理解の徹底を図る。 | B |
| 指標 3年生には総合型選抜（旧AO入試）・小論文対策講座・指定校推薦・大学共通テスト・看護医療系・公務員受験対策などの説明会を随時実施する。 | |

| | |
|---|---|
| <p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】 ハローワークや労働局主催による就職ガイダンス、応募前職場見学・企業研究などを通じて職業観・勤労観を身につけさせる。 インターンシップ、キャリア教育等を実施し、職業観の育成を系統的・継続的に行う体制を整える。</p> | B |
| <p>指標 新型コロナウイルスによる経済悪化の中、これまで就職している企業を中心に企業訪問を積極的におこない、これまで通り就職希望者内定率 100%をめざす。</p> | |
| <p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】 高大連携事業を積極的に活用する。 大学の先生を招き、特別講義を通じて大学で学ぶことの意義を見出し、生徒の学習意欲や目的意識を高める。</p> | B |
| <p>指標 特別講義を開催し、多くの生徒の参加を促す。</p> | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>次年度への改善点</p> | |
| | |

(6)〔健康教育部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>美化・環境整備に関心を持ち、地域の防災リーダーになれるような取り組みを進める。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策5 環境を守る意識の醸成】</p> <p>安全で快適な校内環境の維持をするため、校内巡視をし、危険箇所や破損がないか定期的にチェックする。</p> <p>指標 保健委員・設備美化委員の活動の一環として、定期巡回や校内放送等の活用を行う。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>行事ごとに、団活動を通じ活動場所の安全と衛生を保持する指導を徹底させる。</p> <p>指標 担任・生活指導部・部活動顧問・生徒会の協力を得て、指導に取り組む。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>一人一人の生徒の成長に関わることのできるように、教職員間の連携を強め、情報や対応の仕方について協議を重ねながら共有できる体制づくりをする。</p> <p>指標 生徒指導関係者会議、成績会議、定例の職員会議など機会に、情報を共有する機会を持つ。</p> | B |
| <p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>感染症など広く健康について知識を持ち、かつ生涯にわたってよりよく生きるために、ソーシャルスキルを含めた基本的な生活習慣の定着と、MHL(メンタルヘルスリテラシー)教育の充実・促進を図る。</p> <p>指標 学校保健委員会でテーマとして取り上げる。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(7)〔人権教育推進委員会〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>限られた時間で、時代のニーズに即した身近な問題を取り上げるなど、生徒の実態に応じた人権教育を推進する。</p> <p>P T A人権委員をはじめ保護者や地域との連携をはかり、さまざまな人権問題についての啓発をめざして、講演会等の研修会を実施する。</p> <p>教職員間での人権意識の向上をめざして、講演会等の研修会を実施する。無理であれば、全校一斉の人権学習講演会に参加してもらう。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>L H Rを利用して、各学年に適した人権問題を絞り込んで取り組みをおこなう。</p> <p>指標 人権教育の年間指導計画より削減はせざるを得ないが有効的に実施する。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>可能であれば全校一斉の人権学習の機会を利用して保護者にも参加をうながす。</p> <p>指標 可能であれば年1回以上実施する。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>可能であれば全校一斉の人権学習の講演会に教員も参加をして、研修をおこなう。</p> <p>指標 可能な限り全教職員が参加する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(8) [英語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>①授業などで異文化理解、多文化共生、国際理解の大切さを学ばせる。 ②英語をより実践的に使えることをめざす教育を充実させる。 ③英語で発信することの意義を学ばせ、エッセイライティングやプレゼンテーション能力を向上させる。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>CNET との授業や、異文化理解を促す教材を用いて、異文化理解を深め、個人やグループで世界の様々な問題を話し合い、自らの意見を発信する機会を増やす。</p> <p>指標 少人数セミナーで、文化の違いを尊重しあえる授業案を作る。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>授業で積極的に英語を用いてコミュニケーションをする活動を増やし、姉妹校等との交流に積極的に参加できるようにする。</p> <p>指標 授業でペアやグループ活動を増やし、コミュニケーション力を高める。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>スピーチ活動やディスカッション活動で、自分の意見を英語で発信する意義を学ばせ、その能力を養う。</p> <p>指標 少人数セミナーで、スピーチやディスカッションの活動を多く取り入れる。 また、スピーチコンテストへの積極的な参加を促す。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(9) 〔流通経済科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 校外活動への参加生徒、提供する機会を増やす。（見学会・講演会・実習・コンテスト・発表・インターンシップ・高大連携企画 参加者のべ20名以上）</p> <p>② 「課題研究」や「広告と販売促進」などの科目を通して、自主的に課題を見つけ、イベントや販売実習などの企画・実施・総括までを行う。アクティブラーニングを多種多様に取り入れ、実際に地域や企業などの協力を得て活動し、科の取り組みについて地域での認知度を高める。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>多種多様なアクティブラーニングを取り入れる。外部講師による講座を積極的に取り入れ、通常授業では得られない体験をさせる。また、地域でのイベントや販売実習を通じて、接客マナーを学ぶとともに、問題解決能力を身につける。地域や企業などの協力を得て活動し、コミュニケーション能力を育成し、かつ本校の流通経済科の活動について認知度を高める。</p> <p>指標 講演会や販売実習など企画イベントを合わせて年3回以上実施する。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>校外の活動や本校独自の高大連携事業を活用して、大学の見学会や体験講義に参加させる。また、各大学で行われるコンテストなどにも積極的に参加させる。生徒が大学教育に興味・関心が持てるように、進学を希望する生徒の目的意識を高める。</p> <p>指標 大学の見学会、講演会、コンテストなどにのべ20名以上の生徒が参加する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(10) 〔情報科学科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 授業や実習を通じて、ネットワーク時代の情報管理と取扱いのモラルについて意識させる。</p> <p>② ネットワーク通信の仕組みを理解することにより、安全かつ合法的な利用方法を習得させ、自己理解、他者理解を通じて道德心の育成を図る。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>SNSを利用する際に発生する人権に絡む事象や知的財産権について、いくつかの事例を挙げながら、利用者の視点だけではなく技術的な側面からも理解させる。</p> <p>指標 SNSに絡んだ問題事象を防止する。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 道德教育の推進】</p> <p>ネットワーク通信の技術について正確に理解させるとともに、それを管理する者の責任と義務についても自覚させる。また、道德教育・キャリア教育を意識した実践を行う。</p> <p>指標 情報技術についてモラルを守った上で有効に活用できているか確認する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(11) [教育情報科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 教育探究の授業において生徒間でコミュニケーションをとる機会を増やし、様々な分野にわたる興味関心を深め、リーダーシップの醸成を目指す。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進】</p> <p>教育探究の授業において、生徒間のコミュニケーションをとる機会を多く設け、安心して発言できる環境を作る。さらに、自己理解、他者理解を深める内容を計画する。</p> | B |
| <p>指標</p> <p>生徒が授業内で自由に積極的に発言できる雰囲気ができている。 自分の興味関心がどこにあるのかを意識する生徒を増やす。</p> | |
| <p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進】</p> <p>教育探究の授業において、グループ研究と個人研究を核として取り組み、生徒の興味関心がある分野への意識を深めていく。</p> | B |
| <p>指標</p> <p>自分の興味関心がどこにあるのか意識する生徒を増やす。</p> | |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(16) [保健体育科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>①用具の点検や授業の準備を協力して行うことで、安全な環境づくりへの意識を高め、正しいストレッチの方法を理解し、怪我の防止に努める能力を高める。</p> <p>③ 実技授業をとおして、集団と個人の特性を理解し、規範意識や協調性を向上させる</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策1 安全教育の推進】</p> <p>用具の点検や授業の準備を協力して行うことで、安全な環境づくりへの意識を高め、正しいストレッチの方法を理解し、怪我の防止に努める能力を高める。</p> <p>指標 安全管理に対する意識の向上について確認する。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>実技授業をとおして、集団と個人の特性を理解し、規範意識や協調性を向上させる</p> <p>指標 友人との声かけを積極的に行うことで、他人とのコミュニケーション能力向上について確認する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(19) [1 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 学年団と学科長の4人で教育相談体制を充実させ、常に生徒80人に4人のうちの誰かが目を届かせておき、適切なタイミングで適切な声掛けができる状態を作っておく。</p> <p>② 学校行事やホームルーム活動、教育探究の授業を通して、自己理解、他者理解を深め、自発的に集団を意識した行動ができる力を養う。</p> <p>③ 保護者や関係部署との連携を密にするため、機会を作り、生徒の変化に迅速に対応できる体制を整える。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容① 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ホームルームを3人の担任団で回す。生徒たちには学科長を含めた4人全員が自分たちの担任であるという意識に持っていき、相談しやすい教員にそれぞれが相談ができる状態にする。4人の教員も80人全員の担任であるという意識を持ち、4人のうち誰かが、生徒の変化やサインに気付けるようにする。</p> <p>指標 80人の生徒の情報を4人の教員が平等に認識している状態にする。 年間生徒1人につき最低2回の個人面談を実施する。</p> | B |
| <p>取組内容② 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事やホームルームの中で自分と異なる考え方の存在を理解するよう働きかける。教育探究では自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションの練習を行う。</p> <p>指標 集団の意味を理解し、各個人が自分の役割を把握して、自発的に集団活動に参加する。80人全員がクラブ活動、生徒会活動、課外活動などの集団活動に参加する。</p> | B |
| <p>取組内容③ 【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関係部署との連携を密にするために、3者面談を全員と1度は実施する。ICTを活用した保護者への情報提供の徹底。</p> <p>指標 指導方針の理解と協力をいただけるように、各学期に教育相談を実施する。定期的に学年通信を発行する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(20)〔2学年担任団〕

| 評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった | |
|--|------|
| 年度目標 | 達成状況 |
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 学年団と学科長の4人で教育相談体制を充実させ、常に生徒76人に4人のうちの誰かが目を届かせておき、適切なタイミングで適切な声掛けができる状態を作っておく。</p> <p>② 学校行事やホームルーム活動、委員活動を通して、自己理解、他者理解を深め、自発的に集団を意識した行動ができる力を養う。</p> <p>③ 保護者や関係部署との連携を密にするため、機会を作り、生徒の変化に迅速に対応できる体制を整える。</p> | B |
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
| <p>取組内容① 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ホームルームを3人の担任団で回す。生徒たちには3人全員が自分たちの担任であるという意識を持っていき、相談しやすい教員にそれぞれが相談をできる状態にする。3人の教員も76人全員の担任であるという意識を持ち、学科長を含めた4人のうちの誰かが、生徒の変化やサインに気付けるようにする。</p> <p>指標 76人の生徒の情報を4人の教員が平等に認識している状態にする。 年間生徒1人につき1回以上の個人面談を実施する。</p> | B |
| <p>取組内容② 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事やホームルームの中で自分と異なる考え方の存在を理解するよう働きかける。自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションの練習を行う。</p> <p>指標 集団の意味を理解し、各個人が自分の役割を把握して、自発的に集団活動に参加する。76人全員がクラブ活動、生徒会活動、課外活動、委員活動などの集団活動に参加する。</p> | B |
| <p>取組内容③ 【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関係部署との連携を密にするために、3者面談を全員と1度は実施する。ICTを活用した保護者への情報提供の徹底。</p> <p>指標 指導方針の理解と協力をいただけるように、各学期に教育相談を実施する。 生徒たちが教員に相談ができる環境・雰囲気構築する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |

(21)〔3 学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 自主的で良好な基本的生活習慣の確立をめざす。</p> <p>② ホームルームや学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>③ 様々な活動を通して、最高学年としてふさわしい集団行動での自主性やリーダーシップを身につけさせる。</p> <p>④ 保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p> | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| <p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>自主的で良好な基本的生活習慣を確立し、遅刻・欠席を減少させ、自己管理を徹底させる。</p> <p>指標 心身の健康管理の大切さとその方策を伝える。また各クラスにおいて遅刻、欠席の減少をさせ、自己管理を徹底させる。年間精皆勤率 60%以上をめざす。</p> | B |
| <p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ホームルームや学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>指標 挨拶や正しい言葉遣いを徹底させ、安全で快適な校内環境の維持をする。また登下校中の交通事故等をなくす。</p> | B |
| <p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>部活動・生徒会活動・団活動を通して、最高学年としてふさわしい集団行動での自主性やリーダーシップを身につけさせる。</p> <p>指標 最高学年の上級生として下級生への模範となる意味でも、各行事への全員参加を促す。</p> | B |
| <p>取組内容④【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p> <p>指標 学年会と生徒指導部との連絡会を通じて適宜懇談を実施することで、迅速で的確な指導を徹底する。</p> | B |

| |
|-------------------------|
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 |
| |

| |
|----------|
| 次年度への改善点 |
| |